

□学校教育目標□

〔やさしく かしく たくましく〕

人間力【自立（自律）と共生】・学力の育成

めざす子どもの姿 《思いやりのある子・進んで学ぶ子・チャレンジする子》

第3号

令和7年5月30日

# ハッピー布津笑楽校

南島原市立布津小学校

文責：校長 横田 秀富

布津小の昼休みの運動場は子どもたちでにぎわっています。嬉しい光景です。さて、毎朝、校門前で子どもたちの登校を迎えています。遠くから元気な声で「おはようございます！」と挨拶をする子がいます。感心します。こちらから「おはようございます」と声を掛け、「おはようございます！」と挨拶が返ってくると元気をもらいます。挨拶は社会の中で人と人がコミュニケーションを取るための第一歩です。この「当たり前前」のことが「当たり前」にできることは、簡単そうですが、なかなかできないことがあります。できるようにするためには、「家庭で、学校で、地域で」毎日のたゆまぬトレーニングが必要です。お稽古事、スポーツや楽器と同じで、失敗しながらも基礎練習を繰り返していくからこそ、ふと気付いたときには、できるようになっているということがあります。自転車に乗れるようになる時も何度も何度も転びながら、ある日突然乗れるようになります。人間の脳や体ってすごいですね。チャレンジ・トライすることはどの分野でも決して無駄にはなりません。

6月の生活目標は「シューズやスリッパをそろえよう！」です。「当たり前前」のことを「当たり前」にできる「かっこいい布津っ子」いっぱいのハッピー布津笑楽校をめざして全職員一丸となって努めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

## ハッピー布津笑楽校日記

### 5/15 祈りの日のキャンドル(4年)

雲仙普賢岳災害記念館のスタッフのご協力の下、33年前の雲仙普賢岳噴火災害当時のことを学びました。犠牲になった方々のご冥福と平穏な日が続くことを祈り、4年生がキャンドル作りに取り組みました。その頃、私は少年サッカーの指導に携わっていました。教え子の一人は、お父さん(消防団員)が6月3日の大火砕流の犠牲になりました。災害の影響を直接受けた学校でしたが、大人も子供もなにくそと踏ん張り、長崎県代表として全国大会に出場することができました。その教え子は、人を救う仕事に就きたいと自衛隊員として働いています。弟は消防士として頑張っています。お父さんは亡くなくても思いは子どもたちに受け継がれていて、「親の背中」は大きなものだと感じました。彼との出会いは私の宝物です。当時のことを少しでも語り継ぎ、風化させないように、また、平時の有難さへの感謝とともに災害への備えもしておきたいものです…。

### 5/15 体カテスト(4・5・6年)

子どもたちの基礎体力を確かめるために体カテストを実施しました。これは、毎年、全国一斉に実施され、全国・県・学校の児童の体力の傾向を調査するものです。50m走、ボール投げ、反復横跳び、上体起こし、立ち幅跳び、シャトルランなどの種目に挑戦しました。近年、子どもたちの走・跳・投の能力が低下していると言われています。学校では、体育科の授業をはじめ、昼休みの外遊びを奨励し、少しでも体力向上につなげるため、取り組んでいます。何か一つでも好きな運動をもちたいものです。

### 5/25 PTA 親睦ボッチャ大会

布津小PTA会員の親睦・交流を目的として体育館で学年対抗ボッチャ大会が行われました。ルールもシンプルで分かりやすく誰にでも取り組み易い競技です。目の離せない熱戦が繰り広げられた結果、優勝は5年生。準優勝は6年生でした。緊張感あふれる場面あり、笑い声あり、大きな歓声や拍手あり。何よりもたくさんの笑顔に包まれた楽しいひとときでした。

お忙しい中、計画から準備・運営をしてくださった保健体育部の皆様、参加されたPTA会員の皆様に感謝申し上げます。